

「あわぎん地域密着型金融推進計画」
平成25年度の取組み状況について

平成26年5月



あわぎん地域密着型金融推進計画

当行の伝統的営業方針である「永代取引」を実践することが、地域密着型金融と同義と位置付け、その実践により高い付加価値を提供し、地域やお客さまの持続的な発展に貢献してまいります。

金融円滑化への対応強化

- 経営改善支援、改善計画策定支援の取組強化
- 再生支援協議会・外部専門機関との連携強化
- 資本金借入金・AWA企業再生ファンドの活用推進
- 事業承継支援、M&Aの推進強化
- 企業格付ランクアップの推進強化

地域経済活力創造への貢献

- 創業・新規事業支援の強化
- 成長分野への取組強化、6次産業化支援強化
- 各種団体等との連携、企業誘致活動の推進支援強化
- アジア、国際ビジネスの強化推進
- 阿波銀行学術・文化振興財団を通じた助成活動継続

お客さまのために、阿波銀ネットワーク力を発揮し、高い付加価値を創造する。

平成25年度の取組み実績のご報告



◆ 中小企業向け融資を積極的に推進しています。

地域経済のさらなる活性化に向けて、中小企業向け融資を積極的に推進しています。

当行は中小企業取引をコアビジネスと位置付け、中小企業等貸出金比率を85%以上とすることを目標としています。平成26年3月末現在では85.26%と、引き続き高い水準を維持しています。

これからも、当行の伝統的営業方針である「永代取引」を追求し、それぞれのお客さまに応じて、オーダーメイドによる質の高い金融サービスの提供に努めてまいります。

トピックス

平成25年10月から、お客さまの創業や新たな事業展開を積極的に支援するため、「あわぎん企業育成ファンド(グローイングアップ)」の取扱いを開始しました。

平成25年度取組み実績

◇あわぎん成長基盤強化ファンド	294件／264億円
◇あわぎん中小企業応援ファンド	1,255件／700億円
◇中小企業等貸出金比率	85.26%
	(平成26年3月末現在)

◆ 経営改善・事業再生支援を積極的に推進しています。

審査部法人室に専門スタッフを配置し、お客さまの経営改善、事業再生に向けて積極的に取り組んでいます。

「AWA企業再生ファンド」を活用し、個々のお客さまの状況に応じて、過剰債務の処理や不採算事業のリストラ、M&Aなどによるサポートを行っています。

また、「経営革新等支援機関」として外部の専門機関とも連携し、多様な事業再生スキームを活用することで、抜本的な事業再生や経営改善に積極的に取り組んでいます。

引き続き、コンサルティング機能の強化に努め、お客さまの持続的な発展に貢献してまいります。

平成25年度取組み実績

◇経営改善支援取組み率	5.8%
(経営改善支援取組み先数236／期初債務者数4,065)	
◇再生計画策定率	90.3%
(再生計画策定先数213／経営改善支援取組み先数236)	
◇ランクアップ率	2.1%
(ランクアップ先数5／経営改善支援取組み先数236)	
	※上記指標はいずれも正常先を除いています。
◇徳島県中小企業再生支援協議会との連携による件数	26件
うち、完了件数	20件

平成25年度の取組み実績のご報告



◆ ABLの取組みを強化しています。

地域密着型金融推進の観点から不動産担保や個人保証に過度に依存しない金融の円滑化を図る一環として、ABL(動産・売掛債権担保融資)の取組みを強化しています。

ABLとは、企業の事業そのものに着目し、商品や売掛金など流動性が高い資産を担保として活用する、事業サイクルに応じた資金供給であり、金融円滑化の観点からも注目されています。

当行では、ABLを通じて、お客さまとともに、適正な在庫や売掛債権の管理、販売先の拡大支援等につながるよう積極的に取り組んでまいります。

トピックス

当行と政府系金融機関が共同主幹事となり、食品加工業のお取引先に対し、在庫と売掛債権等を担保とするシンジケートローン型ABLの融資枠を設定しました。

◆ 国際ビジネスのサポートを強化しています。

経済のグローバル化が進展するなか、お客さまの多様なご要望にお応えするため、本店第二営業部の専門スタッフが徳島県内はもとより、関東・関西地区にも駐在し、国際ビジネスに関するお問い合わせやご相談にスピーディーに対応しています。

トピックス

平成25年度には、フィリピンのBDOユニバンク、ベトナムのベトコム銀行と業務提携を締結したほか、提携銀行であるバンコック銀行へ研修生を派遣し、国際ビジネスに関するサポート体制を強化いたしました。

平成25年度取組み実績

◇ABL取組実績	114件／98億8千万円
うち、信用保証協会付	4件／ 3億3千万円

平成26年3月末現在(累計)

◇動産・売掛債権担保取得先	237件
うち、動産担保取扱件数	14件

(注)動産担保件数は太陽光設備関連を除いております。

平成25年度取組み実績

◇ソリューションによる外為新規取引先数	86先
◇国際ビジネスに関する外部提携先利用件数	39件

平成25年度提携海外金融機関

◇BDOユニバンク銀行(フィリピン) 平成25年7月～
◇ベトコム銀行(ベトナム) 平成25年12月～ <small>(いずれも国際協力銀行覚書への協力銀行として参加)</small>

※国際ビジネス提携先

バンコック銀行(タイ)、カシコン銀行(タイ)、バンクネガラ
インドネシア(インドネシア)、インドステイト銀行(インド)、
JETRO、海外コンサルタント、損害保険会社、リース会社 他

平成25年度の取組み実績のご報告

◆ 地域の面的再生へ積極的に参画しています。

当行では、本店第二営業部内の農業チームが中心となり、アグリビジネスに関するさまざまな課題に対して、生産者と対話をしながら、オーダーメイドの対応を実践しています。

お客さまの販路拡大や地域の経済循環などを進めていくなかで、参加農業者の拡大や、製造・流通・販売ネットワークの拡大などの実現につながっています。

当行農業チームのサポートのもと、生産者こだわりの商品を、直接消費者にお届けする産直市「とくしまマルシェ」は、平均来場者数が1万2千人を超え、中心市街地活性化にもつながっています。

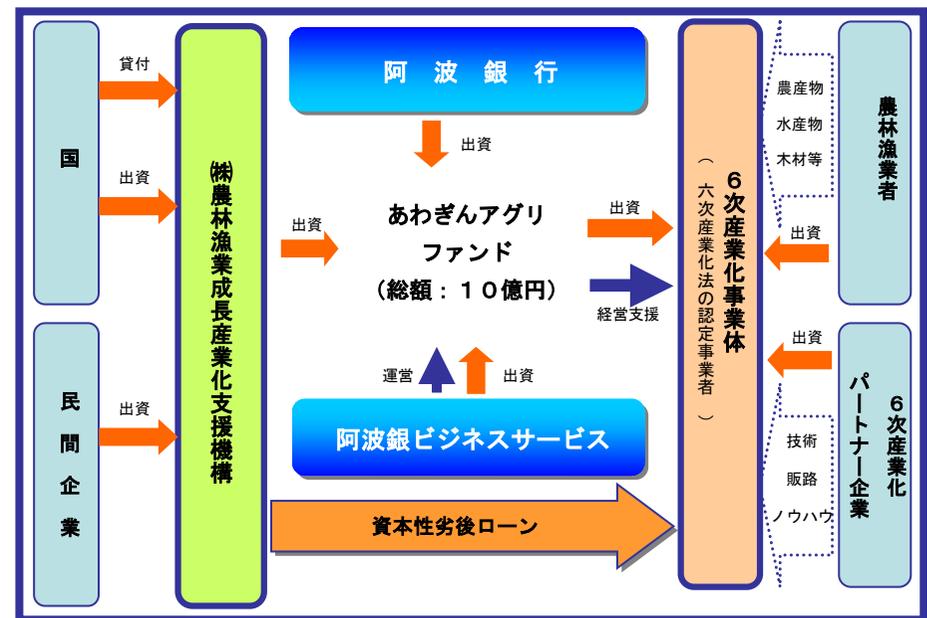


◆ 6次産業化を積極的に推進しています。

当行では、農林漁業者が加工・販売までを手掛ける6次産業化を支援する取組みとして、株式会社農林漁業成長産業化支援機構との共同出資による総額10億円の「あわぎんアグリファンド」を平成25年11月に組成いたしました。

地元徳島をはじめ関西・関東地区にも営業拠点を持つあわぎんグループのネットワークを活用して、ビジネスマッチング等を実施することにより、6次産業化事業への取組みをサポートしてまいります。

※6次産業化とは、1次産業である農林漁業者が、その生産だけにとどまらず、加工食品の製造(2次産業)や小売・卸売など(3次産業)に取り組むことで、新たな付加価値の創造につながるという考え方です。



平成25年度の取組み実績のご報告

◆ 事業承継・M&Aに積極的に取り組んでいます。

当行では、事業承継対策として、外部専門家を含めたサポート体制のもと、財務面のみならず経営面での広い視野に立った対策を検討し、事業承継プラン作成等の支援に取り組んでいます。

また、成長企業と後継者問題等を抱える企業との橋渡し役として、会社・事業の買収・売却に対し、戦略立案から相手先発掘、成約まで総合的な支援に取り組んでいます。

トピックス

職員のコンサルティング能力や目利き力を高めるため、各種研修の実施や、資格取得を奨励しています。平成25年度は当行職員98名が「事業承継・M&Aエキスパート」資格を取得しました。

◆ お客さまの販路拡大をお手伝いします。

当行では、お客さまの販路拡大、新商品・新技術の開発を積極的に支援するため、地方自治体および外部機関等と連携し、各種商談会やビジネスマッチングを開催しています。

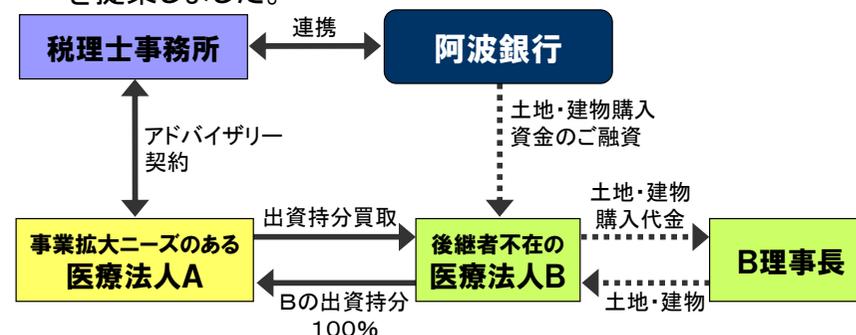
また、医療・介護、国際ビジネス、再生可能エネルギー等、テーマごとのセミナーおよび勉強会を随時実施しています。

トピックス

平成25年10月に開催された「徳島ビジネスチャレンジメッセ2013」において、食品関連商談会および機械関連商談会を実施しました。

平成25年度取組み事例

- 病院拡大のニーズを持つ医療法人Aに対し、当行と提携先の税理士事務所が連携して対応しました。後継者不在の医療法人Bの出資持分100%を買取り、医療法人Bの理事長が所有する病院の土地建物を法人へ売却するスキームを提案しました。



平成25年度の取組み実績のご報告

◆ 店舗設備等のバリアフリー化を推進しています。

すべてのお客さまに安心して当行をご利用いただけるよう、店舗設備等のバリアフリー化を推進しています。

設備等のバリアフリーが充実している店舗を県内各地域に設置し、公表しています。また、視覚障がいのあるお客さまがご利用可能な音声案内ATMを全店舗に設置するとともに、コミュニケーションボードや杖ホルダー、身体障がい者補助犬の受入れなどを全店舗で実施しています。

さらに、当行職員を対象にユニバーサルサービス研修会を定期的実施し、認知症サポーターやサービスケアアテンダントを養成しています。

※サービスケアアテンダント 202名

※認知症サポーター 678名（平成26年3月現在）



◆ 地域活性化に取り組んでまいります。

地元徳島県の豊かな農山漁村地域を次世代に引き継いでいこうとの思いから、徳島県と協働パートナー協定を締結し、農山漁村地域における多様なボランティア活動に参加しています。

過疎化が進む地域の方からの依頼のもと、平成25年度はゆずやはさくの収穫作業、出羽島アート展の準備等を行いました。

また、当行役職員による森林保護を目的とした「あわぎんの森」森づくりボランティア活動のほか、アドプトプログラム吉野川をはじめとした県内河川の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。

◇各種ボランティア参加者

あわぎんの森 平成25年度参加者 63名（累計709名）

アドプトプログラム平成25年度参加者 673名（累計 11,688名）



平成25年度の取組み実績のご報告

◆ 地元徳島の学術や文化振興に貢献します。

徳島県内における優れた学術・文化の振興と発展に貢献することを目的に設立した(公財)阿波銀行学術・文化振興財団を通して、企業や学校等における先進技術の研究開発や、地域文化の発展に結びつく活動に対して助成を行っています。

平成25年度までの累計の実績は、学術部門154件 8,730万円、文化部門316件 5,842万円、合計470件 1億4,572万円となっています。

今後も継続して地元徳島の産業・学術・文化の発展、振興に貢献できるよう努めてまいります。



◆ 青少年の金融教育に取り組んでいます。

金融について楽しく学び、正しい金銭感覚を身につけてほしいとの思いから、小学生を対象に「あわぎん子ども金融教室」や「夏休み親子ふれあい金融機関見学会」を継続的に実施しています。

また、高校生を対象とした金融経済に関するクイズ大会「エコノミクス甲子園」徳島大会の開催や、各種教育機関への講師派遣等を通じて、お金の大切さや金融経済を学ぶきっかけづくりを行っています。

※平成26年度も継続して実施してまいります。金融教育をご希望の場合は、阿波銀行総合企画部までご連絡ください。



これからも、
お客さまとずっとつながる銀行
未来へずっとつながる銀行をめざして
全力で取組んでまいります。

引き続き、ご愛顧を賜りますよう
心よりお願い申し上げます。

